

# カウンターデータから見た登山動向 登山者のパターンを分析

このデータがあなたの登山スタイルを  
変えるかもしれない  
持続可能な登山のために

# ●白山国立公園における登山者カウンターによる入山者数の推計結果（概要）

令和6年5月7日  
環境省 白山自然保護官事務所

環境省では、白山の登山口に平成20年度から赤外線式の登山者カウンター（※）を設置し、登山道利用者数を把握する試みを実施してきました。

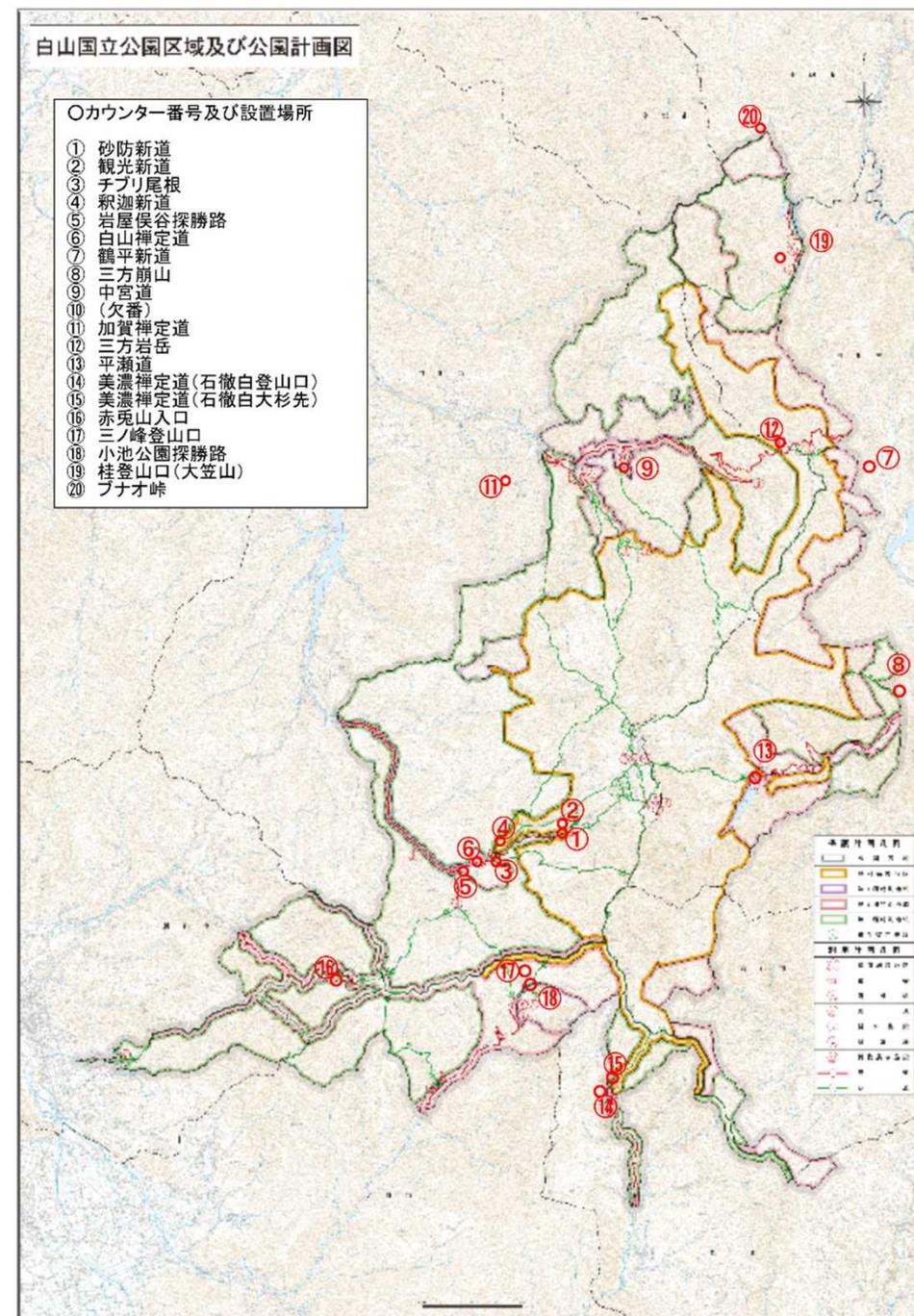
令和5年度に、これまでの調査データを整理し取りまとめましたので、その結果を公表します。

なお、各登山道ごとのデータ等を掲載した詳細な報告書は別途ホームページに公開いたしますが、本資料では簡単な概要を紹介いたします。

※本登山者カウンター（右写真）は一般的に霧の発生や木々の揺らぎ等の影響により誤作動を起こし、実数より多くカウントされる傾向にあります。

今回一定の基準により誤差を除去しましたが、全てを排除しきれていませんので、掲載している値はあくまで推測値であることにご注意ください。

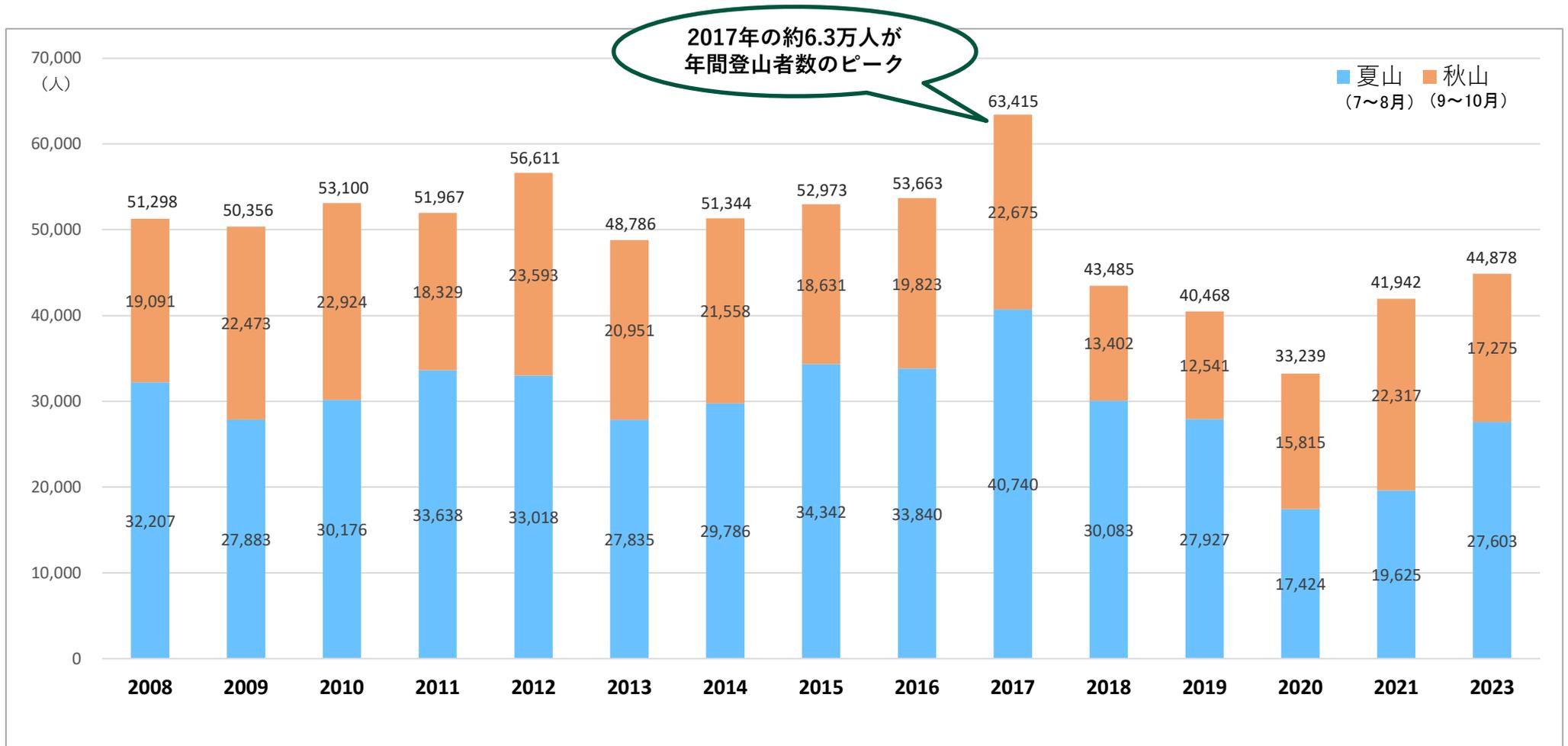
登山者カウンターの設置地点は右図のとおりです。本概要資料では詳細データは砂防新道、観光新道のみ掲載しています。



# 1. 山頂域に至る登山者カウンター数推移（年変動）

○2017年の約6.3万人がピークだった。その後はピークの年の70%ほどで登山者が減少した。

○2020年から2022年のコロナ禍において夏山登山者が減少した。しかし、徐々に回復の傾向が見られている。

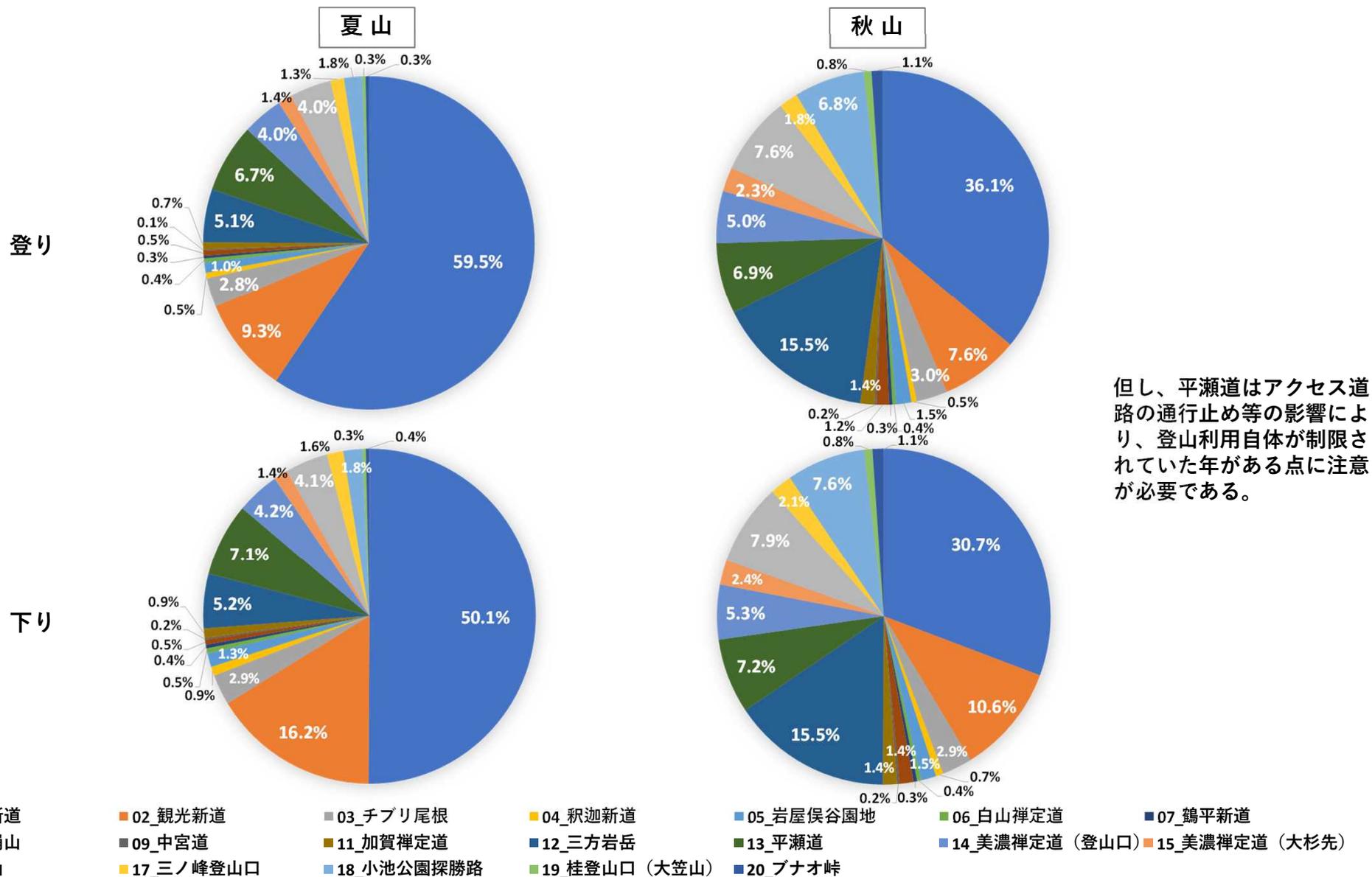


注) なお、2022年は登山者カウンターのエラーにより、入山者の多い上位3登山道である砂防新道、観光新道、平瀬道のデータが欠測しているため、非掲載とした。

## 2. 登山道利用割合（2008年～2023年合算）

○砂防新道が夏秋問わず、最も多く登り・下りで利用され、夏山では登山者の60%が砂防新道に集中する。二番目に利用者が多い観光新道は、全体の10%ほどが利用している。

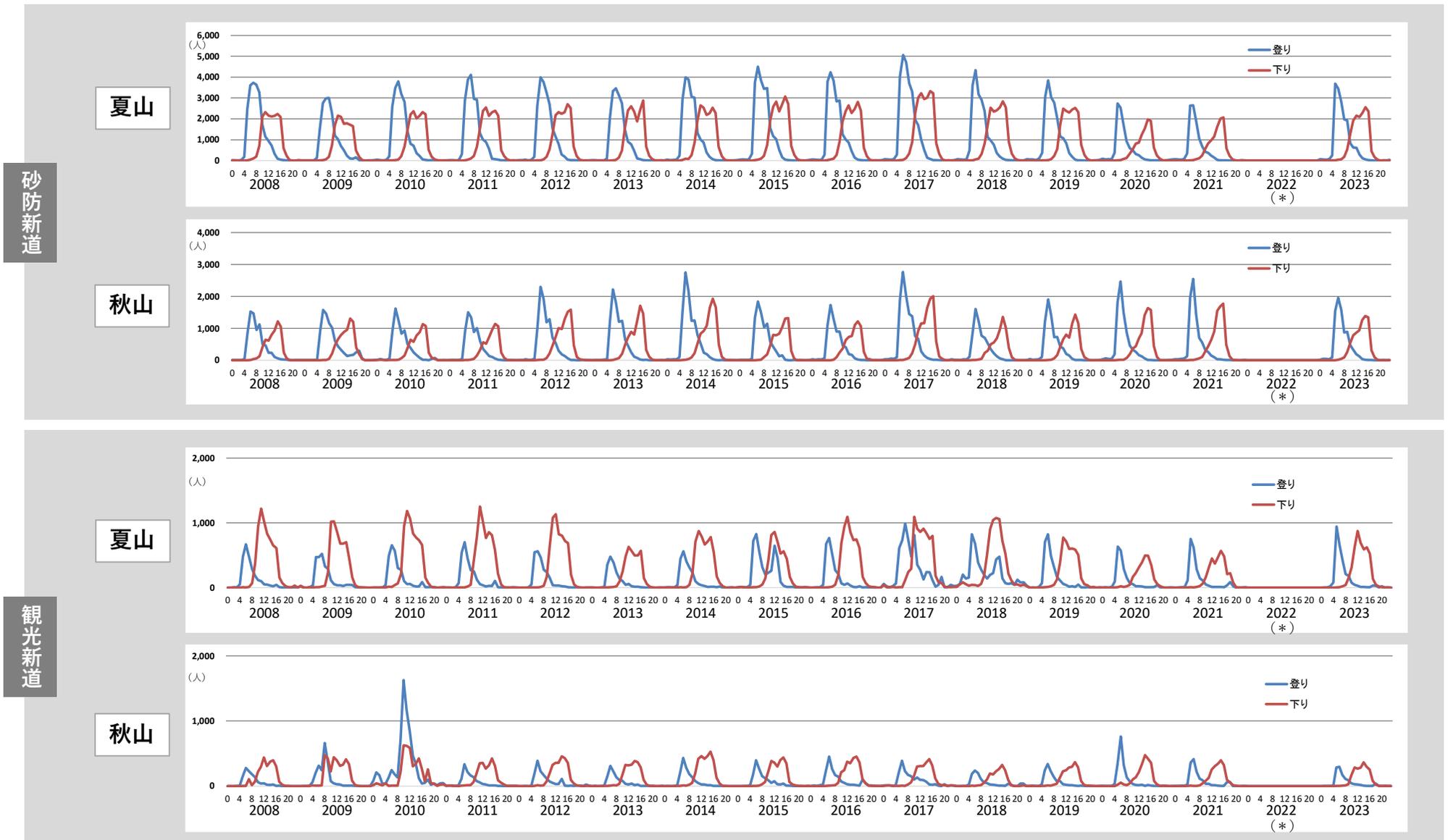
○夏山では観光新道、平瀬道が、秋山では三方岩岳、観光新道が砂防新道に次いで利用されている。



### 3. 時間帯別比率（砂防新道・観光新道）

○登りのピーク特定の時間帯に1回である。特に、夏山で5時～8時、秋山で6時～7時であった。

○下りは、山小屋宿泊者と日帰り登山者が下山する時間帯と思われるピークが2つある。



\*なお、2022年は登山者カウンターのエラーによりデータが欠測している

## 4. 曜日別比率（砂防新道・観光新道 2008年～2023年合算）

○砂防新道の利用者数は土日に集中する。ただし金・土が登り利用が、日・月が下り利用の方が多い。

○観光新道では、利用者数は全体的に下りが多く、日、土、月、金の順に多かった。

